

社協職連協にゅ～す

第 4 5 号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会
令和5年3月1日 発行

令和4年度茨城県内社会福祉協議会職員中堅研修が開催されました

令和4年12月9日（金）に、セキショウ・ウエルビーイング福祉会館にて、県内社会福祉協議会の採用後6年から10年程度の職員を対象に、社会福祉協議会の業務推進に必要な知識を習得すること、また研修プログラムを通じて組織のリーダーとしての自己啓発への意識を醸成し、社会福祉協議会職員として更なるステップアップを図ることを目的とした茨城県内社会福祉協議会職員中堅研修を開催し、36名が参加されました。

第1部の集合型研修では、アイスブレイクで緊張を解きながら自己紹介を行った後、茨城県社会福祉協議会福祉のまちづくり推進部の阿久津朋子部長を講師にお招きし、「中堅社協マンはどこへ向かう？～社協の歴史的展開を背景に包括的支援体制を考える～」をテーマにご講演をいただきました。社協のこれまでの歩み・機能・理念等から、社協が果たすべき役割や社協職員への期待について理解を深めることができ、今後の社協のあり方、自身の職員像を考えるきっかけとなりました。



ゲームを交えながら自己紹介



受講者の様子



フォーラムディスカッションの様子

午後からは、「こんなこと、あんなこと、その時どうした？～先輩職員に業務の進め方を聞いちゃおう！～」と題して、フォーラムディスカッションを行いました。このディスカッションでは、石岡市社協の関町美紀子職連協理事を進行役に、常陸太田市社協地域づくりグループの多賀谷豊臣主査兼グループ長、那珂市社協総務・地域福祉グループの浅野健一主査、笠間市社協生活支援グループの柴沼真一主査兼グループ長がアドバイザーとして登壇されました。参加者からの事前アンケートを基に、日頃の業務を進める上での悩みを共有し、先輩職員からアドバイスを受けるかたちで、参加者間の交流を深めました。

第2部のオンライン研修では、楽天グループ株式会社 楽天大学学長の仲山進也氏を講師にお招きし、「組織のネコ」という働き方をテーマにご講演をいただきました。リーダーとして、さまざまなタイプの職員との接し方や組織デザイン等についての話があり、チームビルディングの手法についての学びを深めることができました。

新型コロナウイルスの感染が落ち着かない状況ではありましたが、集合型とオンラインを合わせたハイブリッド型の研修を実施したことで、この数年、集まる機会の少なかった社協職員同士が対面で交流する場となり、ささやかながらも連帯感が生まれ、集合型研修の効果が発揮された印象を受けました。

この研修会は、茨城社会福祉協議会職連協の理事会で企画・実施されたものです。研修を通じ、みなさまが所属する組織の発展、自己の成長に役立てていけるよう検討を重ねてまいります。



オンライン講演の様子



中央支部の活動報告

中央支部は、茨城県、水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町社協で構成されています。基本的に役員会は参集型で開催し、理事会の報告や研修会等の企画を行っています。また、役員会では、各社協の取り組み状況について情報交換を行うなど、社協間交流を深める機会となっています。



後列が中央支部の役員です！

今年度は集合研修を2回開催しました！

1回目は、令和4年10月18日（火）に、小美玉市四季健康館にて、茨城県の自殺対策についての理解を深めることを目的とした研修会を実施しました。当日は、茨城県福祉部障害福祉課の鈴木豊美様と、茨城県よりそい型相談支援事業所の石川美恵子様を講師にお招きし、鈴木様からは、「自殺対策緊急強化事業について」、石川様からは、新規事業である「よりそい型相談支援事業について」と題して講演いただきました。石川様からは、自殺ハイリスク者への対応として、よりそい型相談支援チームを編成し、医療機関や警察等の関係機関と連携を図りながら、伴走型の支援をする過程についての事例報告もありました。参加者からは、「自殺者の現状と、よりそい型相談支援の状況が理解できた」「石川先生の事例を交えた講話が参考になりました」との感想がありました。

2回目は、令和4年11月24日（木）に、常陸太田市交流センターふじにて、災害救援活動の理解を深めることを目的とした研修会を実施しました。

第1部の報告会では、常陸太田市社協地域づくりグループの四倉大光主幹から、「令和元年台風19号における常陸太田市の災害ボランティアセンター運営」と題した事例発表、水戸市社協地域福祉課の塙行弘副参事兼課長からは、「令和4年台風15号 関東ブロック都県指定都市社協災害協定に基づく被災地への災害救援職員の派遣報告」と題した活動報告がありました。

第2部は、常陸太田市内の「そば処 登喜和家」様に会場を移動して、常陸太田市社協の職員の方も交えた、ランチ交流会を実施しました。美味しいけんちゃん蕎麦に舌鼓を打ちながら、リラックスした雰囲気での交流の場となりました。



集合研修1回目の様子



石川先生を囲んで記念撮影



集合研修2回目ランチ交流会の様子

トートバックを制作しました！

中央支部では、新型コロナウイルスの感染が拡大していることにより、会員交流事業が実施できなかったため、代替えとして、職連協中央支部オリジナルトートバックを制作し会員に配布しました。A4サイズのファイルが縦にも横にも入る優れものです。このバックを活用することで、中央支部の一体感と団結力が高まる効果が期待されます！バックのデザインを担当くださった小美玉市社協様ありがとうございました！

